

有機農業と学校給食 いすみ市長と懇談

地域農業不振
農業従事者の減少
を改善したい



左から：丸山慎一県議、太田洋いすみ市長、加藤英雄県議、みわ由美県議、浅野ふみ子県議

日本共産党県議団は1月26日、有機農業に力を入れ、オーガニック給食に取り組む、いすみ市を訪問。太田洋市長と懇談しました。井上ひろみ党市議が同席しました。



同市では、2015年から有機米を、2018年から有機野菜の生産を本格的に始めました。有機農業促進のため、民間の外部講師を招き、技術面や販売面の指導を得てきました。事業をすすめる市職員体制の増強、市独自の予算確保をはかり、生産農家を支えています。

農家の希望にこたえ、2015年から学校給食に有機米（いすみっこ）を導入。2018年度から使用率は100%です。その後、有機野菜も給食に取り入れました。給食全体の食べ残しは、年々減少し、保護者から評価を得ている、とのこと。

市長は「有機農業の大きな波をつくって農家を守る。子どもたちの一日のうちの大事な一食を市の責任でカバーする」と語っています。

年	有機米農家数の推移		有機野菜農家数の推移		有機米の給食導入量	
	農家経営体	うち農家戸数	農家経営体	うち農家戸数	収量全体	給食
2013	1	3				
2014	3	5			4トン	
2015	8	12			16トン	4トン(11%)
2016	8	15			28トン	16トン(40%)
2017	13	21			61トン	28トン(70%)
2018	13	22	3	3	74トン	42トン(100%)
2019	13	22	5	8	82トン	41トン(100%)
2020	11	19	5	8	94トン	36トン(100%)
2021	11	20	9	12	100トン	36トン(100%)
2022	13	23	9	12	120トン	36トン(100%)
2023	19	29	8	11	143トン	36トン(100%)

(いすみ市の資料より)

能登半島地震災害募金へのご協力をお願いします

募金は、下記で受け付けています。

【郵便振替】

口座番号 00170-9-140321

加入者氏名 日本共産党災害募金係

*通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

募金は全額を被災者救援、被災自治体義援金に充てます。

市の支援を受け生産している

「みねやの里」を訪問



農事組合法人「みねやの里」を訪問。矢澤喜久雄代表理事（右写真の右一人目）は「安全な有機米を育ち盛りの子どもたちに提供でき、安定した販路が確保されていることが、生産者の意欲につながる。有機農業をめざす県外からの若い転入者も増えている。市民や消費者運動の広がりが農業を守る大きな力」と話しています。

農家への支援拡充を
県や国に求めていき
ます